

広報

しょうぼう さつま

119

Vol.29
令和元年6月発行

編集・発行

さつま町消防本部

鹿児島県薩摩郡さつま町時吉 366

TEL 0996-52-0119

FAX 0996-53-0119

Web <http://119.satsuma-net.jp/>

mail shobo@satsuma-net.jp

主な内容

- ・ P1～2……【特集】平成の災害を振り返る
- ・ P3………消防団幹部紹介、早期の119番通報、火災調査ファイル（放火について）
- ・ P4………職員紹介（新入職員・救急救命士等）、消太くんの消防一〇メモ
（セルフサービスガソリンスタンドにおける静電気除去シートについて）
- ・ P5………防火ポスターコンクール入賞者紹介、消防ほっと写真館

平成30年度さつま町消防本部
防火ポスターコンクール

最優秀賞

おばら のぞみ
小原 希海さんの作品



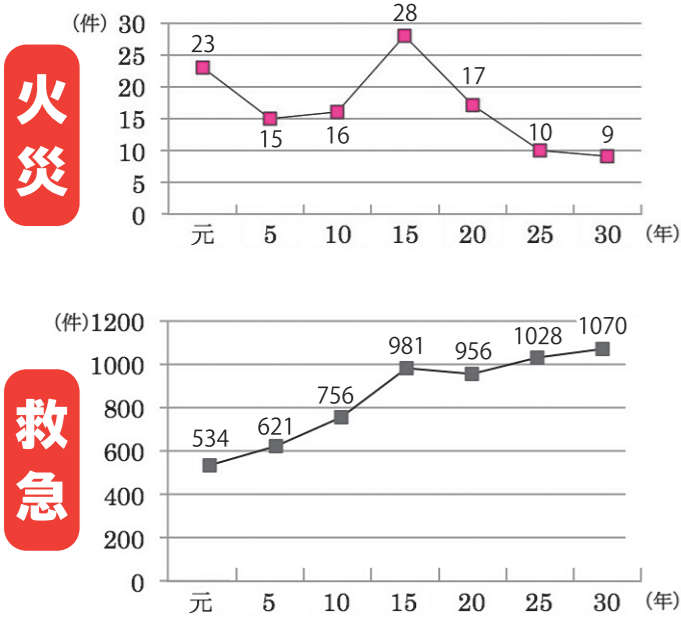
平成30年

火災統計



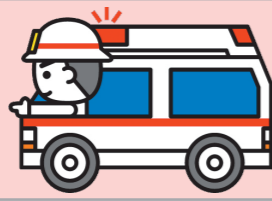
平成30年中の火災発生件数は9件で、前年と比較して5件減少しています。
 火災種別ごとにみると、その他の火災が6件と最も多く、次いで建物火災が2件、林野火災が1件となっています。
 火災による死者はなく、負傷者は2人で前年と同数でした。
 出火原因では「たきび・火入れ」が6件と最も多く、そのほとんどが林野火災や枯草などを焼く「その他の火災」につながっています。

火災・救急 平成における出動件数の推移



平成30年

救急統計



平成30年中は1,070件の出動があり、989人を病院へ搬送しています。
 前年と比較して出動が9件減少し、搬送人員が5人増加しています。
 出動件数で最も多かったのは急病で、全体の54%を占めています。
 また搬送人員のうち、65歳以上が全体の70.5%を占めており、更にそのうちの53.7%が急病により搬送されています。

令和

れ きしをふりかえって

平成30年 (2018年) ▼6月28日〜7月8日 西日本豪雨
 平成28年 (2016年) ▼4月14日 21時26分 熊本地震 (前震)
 ▼4月16日 1時25分 (本震)
 平成26年 (2014年) ▼8月20日 広島市土砂災害
 ▼9月27日 11時52分 御嶽山噴火《長野県・岐阜県》
 平成23年 (2011年) ▼3月11日 14時46分 東日本大震災《東北地方》
 【死者・行方不明者1万8434名・家屋全半壊40万2699棟】
 平成19年 (2007年) ▼7月16日 10時13分 新潟県中越沖地震
 【死者15名・負傷者2346名】

い ままでのさいがいを

平成18年 (2006年) ◆7月22日 鹿児島県北部豪雨災害
 【死者5名・負傷者11名・家屋全半壊1467棟】
 平成17年 (2005年) 3月 さつま町消防本部発足
 ▼10月23日 17時56分 新潟県中越地震
 【死者21名】
 平成16年 (2004年) ■7月10日 出水市針原地区土石流災害
 【重症者1名・軽症者42名】
 ▼5月13日 14時38分 第2鹿児島県北西部地震
 【死者21名】
 平成9年 (1997年) ◆3月26日 17時31分 鹿児島県北西部地震
 【重症者1名・軽症者30名】
 ▼1月17日 5時46分 阪神淡路大震災《兵庫県》
 【死者6433名・家屋全半壊約24万9000棟・家屋全半焼約7100棟】

わ かりやすく

平成3年 (1991年) ▼6月3日 雲仙普賢岳噴火《長崎県》
 【死者43名・負傷者9名】
 平成5年 (1993年) ▼7月12日 22時17分 北海道南西沖地震
 【死者202名・行方不明者28名・負傷者389名・家屋全半壊1009棟】
 ■8月6日 鹿児島市8.6水害 (8.6豪雨)
 【死者48名・行方不明者1名・負傷者52名・家屋全半壊467棟】
 平成7年 (1995年) ▼1月17日 5時46分 阪神淡路大震災《兵庫県》
 【死者6433名・家屋全半壊約24万9000棟・家屋全半焼約7100棟】

さつま町及び

県・全国における主な災害の沿革

《さつま町》 ■鹿児島県 ▼他県 《》

平成の災害を振り返る — 地震・水害・噴火 —



虎居町交差点



宮都大橋 (川内川)



旧鶴田ダムふれあいパーク



復興作業の様子

県北部豪雨



旧宮之城高校1階崩壊



旧鶴田町空家倒壊



佐志小学校プールサイド亀裂

旧鶴田小学校校舎亀裂

県北西部地震

「平成」という時代が終わり、5月1日から「令和」へと元号が変わりました。

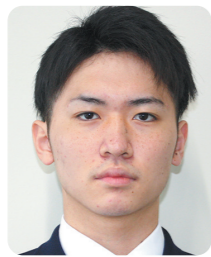
多くの方が、平成の時代を懐かしみ、振り返るのではないのでしょうか。平成は「**災害**の時代」とも言われ、全国的に多くの自然災害が発生しました。

本特集では、平成の出来事のうち、「地震・水害・噴火」に焦点をあててみました。

過去の災害について振り返り、語り継ぐことが大切です。

新人消防士紹介

平成31年4月1日付け採用



しゅうや だいお
大尾 脩也
(19歳)
阿久根市出身

私が幼いころ、家族でまつま町に住んでいたとき、まわりの方々にとってもお世話になったことを両親から聞きました。
消防吏員となり町民の方々に恩返しをし、頼られる存在になれるよう知識と技術を学び、日々頑張っています。



だいち ことさか
小坂 大地
(18歳)
宮之城屋地出身

今はまだ、できることは少ないですが、ひとつずつ吸収していき、自分の生まれ育ったまつま町に、恩返ししていければと思っています。
町民の方々に安心してもらえるような、消防吏員を目指して頑張っています。

救急救命士紹介

3月に実施された救急救命士国家試験に、上之原弘一消防副士長(30歳)が合格し、新たに救急救命士の資格を取得しました。

これからの抱負

救急救命士に求められているものが何なのか常に考え、知識、技術の研鑽に努め、住民の皆様の安全安心のために力を尽くして業務に励んで参ります。よろしく願っています。



消防学校へ派遣



▲初任教育生へ指導中の様子(消防学校)

これからの抱負

平成31年4月1日から3年間、外越正樹消防司令補(46歳)が鹿児島県消防学校へ教官として派遣されています。
消防職員や団員が「来てよかった」「学べて良かった」と思っていただける様な研修内容と学習環境作りを励みたいと思います。

まつま町の安全・安心を守ります

消防団本部の改選に伴い、新消防団長に前副団長の丸尾省吾氏、副団長に前宮之城東部方面隊長の井手原清美氏がそれぞれ選出されました。
このほか、各方面隊長や分団長に12名が任命されましたのでご紹介いたします。
まつま町の安全安心のためにご尽力いただきます。どうぞよろしく願っています。

消防団幹部紹介

●分団長は以下のとおり(敬称略)

<p>東部方面隊長 【新任】 日高 浩一</p> <p>薩摩方面隊長 【再任】 城戸 伸二</p>	<p>副団長 【新任】 井手原 清美</p> <p>鶴田方面隊長 【新任】 曾山 清文</p>	<p>団長 【新任】 丸尾 省吾</p> <p>西部方面隊長 【新任】 濱田 誠</p>
<p>◆宮之城西部方面隊 山崎 永福 幸士 二渡 徳留 修三 久木 中園 猛 平川 登尾 浩二 白川 原田 昇 泊野 平野 深美</p>	<p>◆鶴田方面隊 鶴田 海江田 隆 神子 高嶺実樹雄 柏原 下屋敷一人 紫尾 王子野雅臣 柘野 別府 幹男</p>	<p>◆宮之城東部方面隊 中居 有馬 隆志 虎居 矢野 秀輝 川原 山下 英雄 時吉 堂脇 正明 佐志 手塚 和昌 湯田 手塚 良平 船木 永山 裕也</p>

早期の119番通報にご協力を!

第三者通報とは、現場にいない人が頼まれて119番通報をすることです。消防署には年間1000件を超える119番通報がありますが、交通事故現場で携帯電話が繋がらずに、依頼を受けた通行人などが通報を行ったり、遠方に住む家族へ助けを求め、その連絡を受けた家族が通報をするといった「第三者による通報」が近年増加傾向にあります。

前者のように電話が繋がらないケースでは、第三者が通報することによって、緊急車両を現場へ出動させられる利点もありますが、後者のような場合、現場特定や現場の詳しい状況などを把握するのに時間を要する場合があります。
一刻を争う災害現場で第三者を介すことによって通報が遅くなってしまふことは良いことではありません。いち早く救急車や消防車が現場に向かうためには、119番通報を早い段階で行っていただくことが重要です。
皆さんの生命や財産を守るためにも現場から『早期の119番通報』のご協力をお願いします。



火災調査ファイル Vol.10

出火原因1番多いのは!?

火災の出火原因として全国的に1番多いのは何かご存知ですか。タバコやこんろ、電気製品などと思われるかもしれませんが、実は放火(放火疑いを含む)です。
平成29年版消防白書によると、平成28年中の出火件数は約3万6千件、火気の取扱い不注意などの失火によるものが全体の約7割で、出火原因別にみると放火が約3,500件と最も多くなっています。放火による出火件数は減少傾向にありますが、20年連続して出火原因の第1位となっているのが現状です。
また、連続放火が少なくないのも特徴です。放火をさせないためにしっかりと対策を行いましょ。

○放火されない7つの対策

- ① 燃えやすいものは家のまわりに置かない
- ② 郵便受けに郵便物や新聞をためない
- ③ 車のカバーは防炎加工製品にする
- ④ コミは決められた日の朝に出す
- ⑤ 物置や車庫はガキをかける
- ⑥ 家の周囲は外灯で明るくする
- ⑦ 防犯カメラを設置する

万が一放火された場合でも、すばやく消火活動を行えるよう消火器や水バケツなどを備えておきましょう。地域や住宅などに消火器が設置されている場合は、設置場所を覚えておきましょう。



消太くんの消防一口メモ

最近、セルフサービス式のガソリンスタンドをあちこちで、よく見かけるようになりましたが、給油前に静電気除去シートに触れないと、大きな事故が起こってしまう可能性があります。
●事故の原因は? 静電気除去シートに触れずに給油をした場合、給油口から吹き出す可燃性ガスに静電気の火花が引火し、爆発を起してしまう可能性があります。
全国的にも静電気火災が発生した事例は多数報告されています。

◆静電気除去シートって? 導電性の素材を使用しており、これに触れることで人体に蓄積された静電気を地面に逃がします。
最近では、車の給油口やガソリンスタンドの給油ノズルのレバーが金属ではなく樹脂製加工されているものが多いです。静電気による火災の対策がされていますが、可能性はゼロではありません。

給油前には、必ず『静電気除去シート』に触れる。

『給油前に静電気除去シート』に触れていますか!?

静電気除去シートに触れる。

平成 30 年度 さつま町消防本部

防火ポスターコンクール 入賞者決定!



▲消防長賞

中山さんの作品



▲優秀賞

桑波田さんの作品



表彰式に参加された皆さんと作品

今回は町内の小学校で223作品が制作され、その中から50点の応募があり、厳正なる審査の結果、11点の作品が選ばれました。

なお、入賞された方々は次のとおりです。おめでとうございます。

最優秀賞 ※作品は表紙掲載
小原 希海 (流水小5年)

優秀賞
桑波田紗絢 (盈進小2年)

消防長賞
中山 綾音 (盈進小4年)

防火賞
別府 蒼介 (盈進小1年)
宮脇 呼春 (中津川小6年)

入選
橋之口 音 (柏原小1年)
下麦志英里 (山崎小2年)
川野 杏愛 (山崎小3年)
楠元 乃彩 (中津川小3年)
有村 陽菜 (盈進小6年)
宇宿 莉心 (佐志小6年)

学校特別賞

流水小学校

※学校・学年は表彰当時

消防ほっと写真館



2018.11.24

防火パレード (吉祥保育園幼年消防クラブ)



2019.01.06

幼年消防規律訓練

末吉前消防団長

2月27日、宮之城総合体育館駐車場で、多数傷病者対応訓練を実施しました。この訓練は、傷病者が多数発生した事故に対し、関係機関と協力しながら、安全、確実に傷病者を搬送することを目的としています。当日は事故現場と傷病者を想定して、実際の現場さながらの訓練となりました。



▲医師による観察処置の様子

また、訓練終了後には参加機関と合同の検討会を実施し、今後に向けて活発な意見交換が行われました。

多数傷病者 対応訓練実施

非常災害 対応訓練実施

3月25日、平成30年度非常災害対応訓練を実施しました。

この訓練は鹿児島県北西部地震を教訓に、消防本部で定める消防計画(震災対策計画)に基づき、毎年この時期に実施しているものです。

訓練当日、7時50分に震度6弱の地震が発生したという想定で全職員が参集。庁舎内外の点検や消防車両の一時退避をはじめ、広域に多数発生した災害を想定した通報受信訓練、県や町、消防団など各機関への出動要請や倒壊家屋の現場を想定した救出訓練を行い、非常時の対応を再確認しました。